

今だからこそ、私の心づもり

病院ホームページにもアップしている ACP（アドバンスケアプランニング）の記入用紙をご紹介します。いざという時、70%の人は自分で自分の治療やケアの事を決められない状態になると言われています。いざという時とは事故や急な病気、認知症、そして今なら新型コロナウイルスに罹り、重症化した時でしょうか。本人の意識がはっきりしていない場合、家族が代わりに決定をしなければなりません。そんな時、事前に私の心づもりに記入し、いざという時の治療やケアの事を話し合っていたら、本人も家族も少しは負担が軽減するのではないかと思います。厚生労働省でも人生会議というネーミングで、推奨しています。一度、身近な人と、いざという時の私の心づもりを話し合ってみませんか？



季節に合わせた楽しい壁飾りも患者さんやご家族の癒しになっています

長雨の後は、残暑厳しい日々が続いています。秋の優しい日差しと高い空が、待ち遠しい毎日です。

七夕

今年の七夕は、ご家族に短冊を持ち帰っていただき、願い事を書いてもらい各病室に飾りました。



演奏会

夏祭り



一昨年までは患者さんにご家族に集まってもらい、スイカ割りや2人羽織りなどのイベントを行っていました。夜店もかき氷やたこ焼き、綿菓子など、夏祭りを楽しんでいただけていました。

今年は、雰囲気だけでも味わってもらうため、スタッフが浴衣を着て“炭坑節”を踊りながら各病室を回りました。ヨーヨー釣りと綿菓子を楽しんでいただきました。患者さんもニコニコ笑顔、私達スタッフにとっても本当に久しぶりに楽しい時間でした。



なでしこネットワークという、地域の施設でお困りの事に対し、当院の認定看護師（緩和ケア・感染管理・糖尿病看護・皮膚排泄ケア）が支援する取り組みを行っております。現在は新型コロナウイルスの影響で訪問することが出来ませんが、今後お困りのことがあれば、下記のメールか、なでしこホットラインにご相談いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

編集・作成 緩和ケア認定看護師 尾崎昌子
メールアドレス ozaki-m@iizuka-kaho.jp
なでしこホットライン 0120-745-860